

指定管理者評価委員会の評価結果について

1. 施設概要と状況

施設名	隠岐航路超高速船「レインボージェット」
指定管理者	隠岐汽船株式会社（隠岐の島町）
設置目的	隠岐と本土間の海上交通を確保し、住民福祉の向上と産業振興を図るため

2. 評価期間

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

3. 業務評価結果

評価項目	評価		特記事項
	指定管理者	評価委員会	
管理運営に係る事項			
設置目的の達成			
就航状況	a	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月から10月の就航率が改善したため、全体就航率は91.7%と過年度平均値（89.7%）を超え、過去2番目の好実績。</li> <li>・機械故障による欠航便数は9便、欠航率は0.9%と他社実績0.2%を下回る水準であるが、他社では代船運航した場合は「欠航」とカウントしていないことを考慮すると良好な実績。</li> <li>・人為的なミスによる欠航は無し。</li> </ul>
乗船客数	a	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗船客数は115,863人と、目標（112,000人）を上回る実績。</li> <li>・上期は堅調に推移したが、11月の台風、3月のコロナウイルス感染症の影響により減少。</li> </ul>
利用者への対応			
接遇対応			<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価委員会主催のアンケートは、コロナウイルス感染症対策の観点から未実施としたため、評価項目から除く。</li> </ul>
苦情対策、トラブルの未然防止、要望の把握・対応	b	b	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社内の「サービス改善委員会」で利用者の苦情・要望や対応可能な方策等を検討し、社内での共有が図られている。</li> <li>・情報共有の意識は高まってきているように思うが、原因の追究が不十分であり対策方法に課題が多い。</li> </ul>
利用環境の向上	b	b	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者ニーズが高かったトイレ臭気対策として、バキューム方式へ改良し併せてウォシュレットを追加。また婦人用トイレが混み合うことが多かったため共用トイレに変更。</li> <li>・サービス改善委員会の議論が具体化されるような工夫が求められる。また改善した内容等を島民や利用者積極的にPRしていく工夫が必要。</li> </ul>
管理物件の維持管理			
維持管理の状況（日常のメンテナンス）	a	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適正に管理されている。</li> <li>・メンテナンス部門の人員不足に対する対応方針の検討が必要。</li> </ul>
維持管理の状況（ドック、大規模な修繕）	a	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な点検、修繕がなされている。</li> <li>・広域連合において、ドックに係わるバックアップ体制強化の検討が必要。</li> </ul>
経費の節減（修繕費）	a	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大幅に修繕費の節減が図られている。</li> <li>・次年度は、取組と効果がより具体的に分かる形で資料を作成いただきたい。</li> </ul>
経費の節減（修繕費以外）	b	b	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適正な費用で業務がなされている。</li> <li>・次年度は、取組と効果がより具体的に分かる形で資料を作成いただきたい。</li> </ul>

指定管理者評価委員会の評価結果について

1. 施設概要と状況

施設名	隠岐航路超高速船「レインボージェット」
指定管理者	隠岐汽船株式会社（隠岐の島町）
設置目的	隠岐と本土間の海上交通を確保し、住民福祉の向上と産業振興を図るため

2. 評価期間

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

3. 業務評価結果

評価項目	評価		特記事項
	指定管理者	評価委員会	
関係事業者との連携	a	a	・川重JPS（メーカー）主催のファミリーカンファレンス（運航会社連絡会議）、メンテナンス実務者会議で課題を共有するなどの連携が図られている。 ・次年度は、取組と効果がより具体的に分かる形で資料を作成いただきたい。
広報事業・利用促進事業等			
計画性、PR、誘客	b	b	・計画どおり実施されている。
関係者、他施設等との連携	b	b	・関係者と連携を行っている。 ・次年度は、取組と効果がより具体的に分かる形で資料を作成いただきたい。
業務実施体制に係る事項			
危機管理体制			
危機管理体制	a	a	・緊急時に備えた訓練等が適切に実施されている。
組織体制			
人員配置体制（責任体制、配置）	b	b	・適切な人員配置がなされている。
人材育成			
職員研修の実施	b	b	・職員研修等が適切に実施されている。
コンプライアンス体制			
法令遵守体制	a	a	・遵守体制が確保されている。
財政基盤・財務			
収支状況	c	c	・経常利益は70,549千円の実績であったが、計画（94,701千円）を下回ったため「c」評価とする。
経理処理	a	a	・適正に実施されている。
各種帳簿、関係書類の整備	a	a	・適正に整備、管理されている。
総合評価	A (27点)	A (27点)	

項目評価の目安

- a：水準を上回る（2点）
- b：水準どおり（1点）
- c：水準を下回る（0点）

総合評価の目安（36点満点）※接遇対応項目を除く

- S：実績が協定書等の内容や目標を上回り、優れた管理が行われたもの（31点以上）
- A：概ね協定書等の内容どおりの管理が行われており、適正な管理が行われたもの（24点～30点）
- B：実績が協定書等の内容や目標を下回り、さらなる工夫、努力及び改善が必要なもの（18点～23点）
- C：管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善が必要なもの（18点未満）